

## ブルンジ月報（２０２５年４月）

※以下は、ブルンジ主要メディア（RTNB、IWACU等）の記事取りまとめ。

### 1. 政治・外交

- ３～６日、ンダイシミエ大統領（以下「ン」大統領）は、ベトナムに公式訪問し、クオン大統領と会談。開発協力及び政治・外交に関する２つの覚書を締結した。
- ２６日、「ン」大統領は、プレヴォ副首相兼外相をはじめとするベルギー代表団と会談し、二国間パートナーシップやコンゴ（民）東部を巡る情勢について協議した。
- ２７日、「ン」大統領は、ブルンジに来訪したエンバロ・ギニアビサウ大統領と会談し、経済、科学、文化、ICT等の分野における相互協力について協議した。
- ３０日、「ン」大統領は、フランス２４のインタビューを受け、コンゴ（民）東部の紛争についてカタル及び米国の外交努力を称賛した。他方、ルワンダによるブルンジへの攻撃の可能性に懸念を示し、カガメ大統領との信頼関係を失ったと述べた。

### 2. 開発協力

- １７日、ゼウファック世銀カントリー・ディレクターがブルンジを訪問し、「ン」大統領と過去３年間の活動の評価及び今後のプロジェクトについて協議した。
- ２５日、UNHCRはコンゴ（民）東部から流入した難民に対する支援について資金不足が深刻であると警告。本年１月以降、７１，０００人以上がブルンジに流入している。

### 3. 経済

- マクロ経済や金融セクターの安定を目的としたIMFのブルンジでのミッションが終了。本年１～２月の平均インフレ率は３９％であり、IMFはインフレの抑制を政府の中核的な優先事項と位置づけた。また、公的債務総額は２０２４年末時点でGDPの５２％に達しており、IMFは国有企業の業績強化や貿易関連インフラの改善等の財政改革に係る政策を実施するよう推奨した。